

国内外での高い評価は、進化を続ける独創的な研究から生まれる。
2007年度の主な受賞・受章 (2007年4月～2008年8月)

文化勲章

2007.11 受章

ギンコライドの構造決定などで
 生物有機化学・天然物化学分野に
 多大な貢献

理学研究科 名誉教授 **中西 香爾**



理学研究科の中西香爾名誉教授は、ギンコライドやプレバトキシンの構造決定、NOE法や励起子カイラリティ法の開発などの業績により、生物有機化学・天然物化学に多大なインパクトを与えたことを評価され、2007年度の文化勲章を受章した。

中西名誉教授は有機化学分野の世界的権威であり、生理活性物質の作用メカニズムを分子構造レベルで解明し、眼底変性症の原因物質を発見するなど、数々の業績を挙げている。

これまでも日本学士院賞(1990年)、全米科学アカデミー化学賞(1994年)、ロバート・ウェルチ化学賞(1996)、キング・ファイサル国際賞(2002年)など国内外の賞を数多く受賞し、1999年度文化功労者にも選ばれている。

現在の主な研究内容は、機能性天然有機化合物の構造および生体内機能発現に関する研究である。

文化功労者

2007.11 顕彰

国際法研究における業績と
 国際司法裁判所裁判官としての貢献

法学部 名誉教授 **小田 滋**



国際法講座担当の小田滋名誉教授はすでに1960/70年代世界の国際法学界において「海のオダ」として広く知られた。1976年国連によって世界法廷である国際司法裁判所判事に選出され、世界で前人未踏の3期27年の任期を務めた。

文化功労者

2007.11 顕彰

有機ケイ素化学の新展開を拓き
 世界をリードする実績が高く評価される

理学部 名誉教授 **櫻井 英樹**



有機ケイ素化学を、重要な広がりを持つ学問体系として確立した櫻井英樹名誉教授は、2007年度文化功労者に選ばれた。有機ケイ素化学の研究を中心的立場で推進し、世界的レベルで先導的な役割を果たしたという実績を評価されたものである。

日本学士院賞

2007.6 日本学士院賞 受賞
 2008.3 トライボロジー・ゴールドメダル賞 受賞

トライボロジーに関する研究で
 国内外の学界と産業界から高い評価

工学研究科 名誉教授 **加藤 康司**



工学研究科の加藤康司名誉教授は、堀幸夫東京大学名誉教授(金沢工業大学副学長・同工学部教授)との共同研究「トライボロジーに関する研究」により、2007年度日本学士院賞を受章した。

加藤名誉教授は、可視化法により静止摩擦係数の発生機構を解明し、さらに摩擦と摩耗の微視機構を解明して両者を統合することにより、初めて摩耗形態図を創成。これにより摩耗状態の診断・予知が可能となり、耐摩耗設計法の構築に貢献した。加藤名誉教授の発明したトライボコーティング潤滑法は、宇宙での長期使用のために、国際宇宙ステーションにおける暴露試験を経て、実用化への開発途上にある。

また、加藤名誉教授は2007年度トライボロジー・ゴールドメダル賞も受賞。本賞は、英国トライボロジー財団が英国機械学会や国際電気学会などを含む9つの学協会の代表者により毎年1名を選出し授与するもので、トライボロジー分野のノーベル賞に相当する栄誉ある賞と位置づけられている。

紫綬褒章

2007.4 受章

世界の半導体分野を変えた
 フラッシュメモリーの発明

電気通信研究所

名誉教授 **舛岡 富士雄**



フラッシュメモリーの発明という功績が評価され、舛岡富士雄名誉教授は2007年春の褒章で紫綬褒章を受章した。フラッシュメモリーは携帯電話やデジタルカメラ、パソコンなどのデータ記憶媒体として世界的に普及している。

フラッシュメモリーは携帯電話やデジタルカメラ、パソコンなどのデータ記憶媒体として世界的に普及している。

紫綬褒章

2007.11 受章

新構造のケイ素化合物を
 創り出し解明する

理学研究科

名誉教授 **吉良 満夫**



吉良満夫名誉教授は、新しい構造を持つケイ素の化合物を研究し、その性質を明らかにしたという実績により、2007年秋の褒章で紫綬褒章を受章した。ケイ素の二価化合物や様々なケイ素の「二重結合」を創りだしている。

吉良満夫名誉教授は、新しい構造を持つケイ素の化合物を研究し、その性質を明らかにしたという実績により、2007年秋の褒章で紫綬褒章を受章した。ケイ素の二価化合物や様々なケイ素の「二重結合」を創りだしている。

紫綬褒章

2008.4 受章

流体工学研究の業績で
 学界、産業界に大きく貢献

流体科学研究所

名誉教授 **南部 健一**



流体工学研究に関する功績が認められ、南部健一名誉教授は2008年春の褒章で紫綬褒章を受章した。その業績は学術的に重要であるだけでなく、宇宙航空や半導体プラズマプロセス、真空機械など、産業界への寄与も大きい。

流体工学研究に関する功績が認められ、南部健一名誉教授は2008年春の褒章で紫綬褒章を受章した。その業績は学術的に重要であるだけでなく、宇宙航空や半導体プラズマプロセス、真空機械など、産業界への寄与も大きい。

Topics

大学ランキングの総合評価で日本一を連覇

『大学ランキング2009年版』(朝日新聞社)が、全国の高校の進学指導教諭を対象にアンケート調査を実施した結果、東北大学は4年連続で総合評価第1位となった。「進学して伸びた」で1位、「生徒に勧めたい」で3位など、項目別でも高評価を獲得している。

- 1位 | 東北大学
- 2位 | 東京大学
- 3位 | 慶應義塾大学
- 4位 | 立命館大学
- 5位 | 筑波大学

Topics

ESI論文被引用数ランキングで「材料科学」が世界第3位

学術論文の引用動向データベースである、トムソンサイエンティフィックの「Essential Science Indicators」で、東北大学の「材料科学」が世界第3位にランキングされた(2008年5月発表)。また、日本では同分野が第1位、「物理学」が第2位となった。

- 世界第3位(国内第1位) | 材料科学
- 世界第9位(国内第2位) | 物理学
- 世界第15位(国内第4位) | 化学
- 世界第40位(国内第3位) | 工学